

公益社団法人日本技術士会 CPD行事実施報告書

開始日時	平成29年1月14日(土)	15時00分
終了日時	平成29年1月14日(土)	16時40分
名称	第43回CPD新春講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	千葉市ビジネス支援センター きぼーる 15階多目的室(千葉市中央区中央4-5-1)	
行事内容	挨拶(主催者側 代表) 講演 「犯罪捜査と科学 — 微細証拠物件:天然物質と工業製品」 講師:杉田 律子氏 博士(理学) 科学警察研究所法科学第三部 化学第四研究室 室長 質疑応答	
参加人数	56名(内 企業 5名)	

第43回CPD新春講演会は犯罪捜査と科学に関する講演会を行った。

我々の身の回りにはガラス、金属、プラスチック、土、植物などの実に多くの物質が様々な形で常に存在している。このような身近なものが、犯罪の現場において犯人が意識しないままに、自分自身や被害者あるいは犯罪に使われた道具などに付着する。このような微細な付着物は犯人などの行動や自供を裏付ける証拠となる。本講演では、土砂や植物を中心として微細証拠物の研究や鑑定について解説をいただき日頃あまり経験のない分野の研究・技術に触れる機会を得て大いに参考になった。

まず科学警察研究所と科学捜査研究所の違いについて説明があった。TVドラマなどでおなじみの「科捜研」とは違うことが理解できた。

犯罪捜査における微細証拠物件、証拠資料の由来・特定の物質の存在の証明・事故原因の究明などを科学的に行う「法科学」、鑑定検査、犯罪と土砂⇒法地質学、植物学の知識や技術を法科学に応用する「法植物学」など普段あまり聞いたことがないキーワードの説明に興味深く耳を傾けた。

講師は研究者として体験に基づいた適切な解説と判断に基づいて自信をもって力強い口調で長時間の講演をいただいた。心からお礼を申し上げたい。



杉田律子講師

